

聞き書き作品をつくる



戦前戦後 うつりゆく荒井に生きて

～時代とともに移り変わる暮らしとなりわい～

話し手：進 市三さん（荒井集落）

習うよりかは見て習う

私の名前は、進 市三（しん いちぞう）。昭和2年の2月12日生まれの89才。荒井で生まれました。7人兄弟の長男で姉が一人おった。おばあさん、父親と母親の10人暮らして、家族は多かった。

家業は百姓をしとった。作物は米とタバコを作りよったな。それから、牛を2頭くらい飼うとりました。機械でやらんので、牛で田畑を鋤でおこしてな。畜産もやりよったわ。

子どものころは、背中に妹や弟を背負って子守をしよりました。小学校6年生以上になったら、稲刈りとか田植えとか百姓仕事の手伝い。その頃は手で全部植えとったから、1週間くらい田植え休み、稲刈り休みがあった。その代わり夏休みが20日ほどしかなかった。



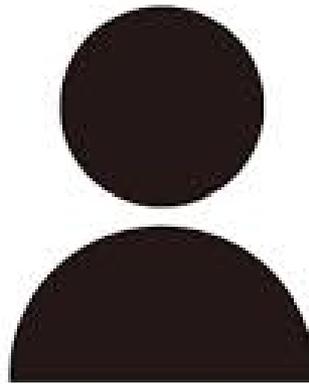
写真 1: はつらつと語る進さん

買いもんも毎日金を持っていくじゃなしに、つけで買うた。通い帳があつて、何月何日に何をかうたいうたら、盆、それから正月、12月31日までに綺麗に払う。買ったものは、日用品とかここらにないもの。海のもの

話し手は、誰なのか？

文章の冒頭で、話し手の基本的なプロフィールがわかるように整理する。

(名前、年齢、職業、住んでいる場所など)



主人公



タイトルをつける

戦前戦後 うつりゆく荒井に生きて ~●●●●~

名前を入れる

小見出しをつける

話し手 ○○○○

聞き手 ○○・○○・○○

習うよりかは見て習う

私の名前は進(しん)市三(いちぞう)。昭和2年2月12日生まれの88歳。荒井で生まれました。7人兄弟の長男で、姉が一人おった。おばあさん、父親と母親の10人暮らしで、家族は多かった。

家業は百姓をしてとった。作物は米とタバコを作りよったな。……

作品の冒頭には、名前、生年月日、年齢、職業など、その人に関する基本的な情報が入っている。



文章整理の例

Q 「森林組合で働きはじめたのは、何歳のときですか」

A 「えーと、そうねえ。22歳のときだと思います。
父も、森林組合に勤めていたんですよ。
だからでしょうかねえ。母は、とても喜んでくれました。
お父さんの志を継いでくれたと思ったんでしょうね」

→私は22歳のときに、森林組合で働きはじめました。
父も森林組合に勤めていたので、その志を継いでくれた
と母は思ったのでしょう。とても喜んでくれました。



基本的な考え方

「語り口調」を生かしながら、読みやすくまとめる。

繰り返しや言い淀み(あのう、えーと等)は削除し、
主語がない等の場合は補う。

指示語(こそあど言葉)は、具体的な名詞に置き換える。

趣旨は曲げずに第三者が読んでも、わかる作品に。



作品の構成（起承転結）を考える

◎自己紹介をした後で、どの話からはじめるか

(たとえば、子どもの頃の話からはじめる、印象的な話からはじめる等)

◎仕事や暮らしの話は、どう並べるか

(たとえば、四季の作業を順番に並べる。

道具の話から入って、技術の話につなげる、など)

◎どの話に展開し、どの話で終わるか

(たとえば、家族のこと、ふるさとへの思いなど、何を大切にするか)

※話した通りの順番で、作品をつくる必要はありません。

練習問題 ① 文章整理

Q. 杉本さん。お名前と生年月日を教えてください。

—名前は充（みつる）。昭和5年9月6日生まれ。

生まれ育つたのは、ここ、奈良県川上村です。

Q. 今年でおいくつですか。

—88歳になりました。もうええ年や。

孫は5歳。女の子でね、かわいくて仕方ない。

Q. 杉本さんが生まれたのは、どんなところですか。

—生家は山の中腹で。今の子らと違って、子どもんときは外っていうか、山に入って遊んでいました。

Q. たとえば、どんな遊びですか。

—崖から木に飛び移ったり、川に飛び込んだり。なんていうか、冒険好きのいたずらっ子だったねえ。

Q. 杉の種採りの仕事をいつから始めたんですか？

—中学校を出てすぐよ。

親父の仕事を自然と引き継いでいたってことだなあ。

練習問題 ①

~~Q. 杉本さん。お名前と生年月日を教えてください。~~

—私の名前は杉本充（すぎもと・みつる）。昭和5年9月6日生まれです
から、今年で88歳になりました。生まれ育ったのは、（ここ、）奈良県川
上村です。

~~Q. 今年でおいくつですか。~~

—88歳になりました。（もうええ年や。孫は5歳。女の子でね、かわいく
て仕方ない。）

~~Q. 杉本さんが生まれたのは、どんなところですか。~~

—生家は山の中腹で。今の子らと違って、子どもんときは外っというか、
山に入って遊んでいました。

~~Q. たとえば、どんな遊びですか。~~

—崖から木に飛び移ったり、川に飛び込んだり。なんていうか、冒険好き
のいたずらっ子だったねえ。

~~Q. 杉の種採りの仕事をいつから始めたんですか？~~

—種採りの仕事を始めたのは、中学校を出てすぐよ。親父の仕事を自然と
引き継いでいったってことだなあ。

練習問題 ① 回答

私の名前は杉本充（すぎもと・みつる）。昭和5年9月6日生まれてから、今年で88歳になりました。

生まれ育ったのは、奈良県川上村です。

生家は山の中腹で。子どもんときは、山に入って遊んでいました。

崖から木に飛び移ったり、川に飛び込んだり。なんていうか、冒険好きのいたずらっ子だったねえ。

種採りの仕事を始めたのは、中学校を出てすぐよ。親父の仕事を自然と引き継いでいったってことかなあ。



練習問題② 文章整理

Q 種採りつて、どういう仕事なんですか。

—杉の種を採るんです。採るのは10月以降と決められていて、秋の土用が適期ですな。木に登ってね、種を採ります。高さは、そうだなあ。40メートル近いかなあ。

Q. どうやって登るんですか。

—カルコ登りって言ってね。カルコっていうのは、ロープの両端に木の棒。あのを、拍子木みたいな棒が巻きつけてある、そういう道具で。それを木に結んで、足場にして登っていく。登ったらアゲツナで、鎌を木の上まで引っ張りあげて、それで枝を切り落とすんです。

Q. 漢字でどう書きますか？

—カルコは「軽い」という字に、子どもの「子」。アゲツナは「上げる」に「綱」やな。

Q. 切り落とした枝は？

—その枝に種がね、球果の中には杉の種がいっぱい入っている。それを篩（ふるい）ってわかるか？ 篩にかけて選別するわけ。種はなあ、生きとるから、紙袋に入れて保管する。空気を通さんとあかんのよ。

Q. つまり種採りは、木に登って、球果のついた枝を切り落とす仕事。

—そうそう。鎌はなあ、柄の長い鎌を使うんだよ。2メートルぐらいあるね。

練習問題②

~~Q 種採りつて、どういう仕事なんですか。~~

~~—杉の種を採るんです。採るのは杉の種採りは10月以降と決められていて、秋の土用が適期ですな。40メートル近い木に登ってね、種を採ります。木の高さは、そうだなあ。40メートル近いかなあ。~~

~~Q. どうやって登るんですか。~~

~~—軽子（かるこ）カルコ登りっていいね。カルコ軽子っていうのは、ロープの両端に木の棒。あのう、拍子木みたいな木の棒が巻きつけてある、そういう道具で。のこと。それを木に結んで、足場にして登っていく。木の上まで登ったら上げ綱（あげつな）アゲツナで、鎌を木の上まで引っ張りあげて、それで球果がついた枝を切り落とすんです。鎌は、柄の長さが2メートルぐらいある長い鎌を使います。~~

~~Q. 漢字でどう書きますか？~~

~~—カルコは「軽い」という字に、子どもの「子」。アゲツナは「上げる」に「綱」やな。~~

~~Q. 切り落とした枝は？~~

~~—その枝に種がね、杉の種は球果の中に杉の種がいっぱい入っている。それを篩（ふるい）ってわかるか？ 篩にかけて紙袋に入れて保管する。選別し、紙袋に入れて保管する。するわけ。種はなあ、生きとるから、空気を通さんとあかんのよ。~~

~~Q. つまり種採りは、木に登って、球果のついた枝を切り落とす仕事。~~

~~—そうそう。鎌はなあ、柄の長い鎌を使うんだよ。2メートルぐらいあるね。~~

練習問題② 回答

杉の種採りは10月以降と決められていて、秋の土用が適期ですな。40メートル近い木に登って、種を採ります。軽子（かるこ）登りっていいね。軽子ってというのは、ロープの両端に拍子木みたいな木の棒が巻きつけてある道具のこと。それを木に結んで、足場にして登っていく。木の上まで登ったら上げ綱（あげつな）で、鎌を木の上まで引っ張りあげて、球果がついた枝を切り落とすんです。鎌は、柄の長さが2メートルぐらいある長い鎌を使います。

杉の種は球果の中にはいっぱい入っている。それを篩（ふるい）にかけて選別し、紙袋に入れて保管する。種はなあ、生きとるから、空気を通さんとあかんのよ。

練習問題③ 作品タイトルを考えよう

Q. 種採りで一番注意しなければならないことは何ですか。

—それは母樹の選定だな。良い木から良い種を採ることは絶対条件です。なんせキャッチフレーズは、「良い種は栄える」ですから。

Q. なるほど。その、良い木って、どんな木でしょうか。

—うーん、なかなか一言では言えんなあ。木の形と樹皮の表情を見て決める。

Q. ある程度、経験を積めば、わかることですか。

—そうやな、経験がものを言うな。

これが完璧になるには30年かかりましたよ。

Q. 川上村では昔から種採りが盛んなんですか。

—あんだ、大分の人だから川上村って言ってもわからんだろうけれども、雨が多くて、スギの生育に恵まれた土地でな。山の面積の7割、70パーセントが人工林です。

Q. 人工林って？

—人が木を植えて、育てるんや。で、いい木を育てるには、いい種がいる。だから種採りは原点の原点や。

練習問題③

Q. 種採りで一番注意しなければならないことは何ですか。

—それは母樹の選定だな。良い木から良い種を採ることは絶対条件です。なんせキャッチフレーズは、「良い種は栄える」ですから。

Q. なるほど。その、良い木って、どんな木でしょうか。

—うーん、なかなか一言では言えんなあ。木の形と樹皮の表情を見て決める。

Q. ある程度、経験を積めば、わかることですか。

—そうやな、経験がものを言うな。

これが完璧になるには30年かかりましたよ。

Q. 川上村では昔から種採りが盛んなんですか。

—あなた、大分の人だから川上村って言ってもわからんだろうけれども、雨が多くて、スギの生育に恵まれた土地でな。山の面積の7割、70パーセントが人工林です。

Q. 人工林って？

—人が木を植えて、育てるんや。で、いい木を育てるには、いい種がいる。だから種採りは原点の原点や。

タイトル案

杉の種採り30年～吉野林業の原点を聞く～

良い種は栄える～100年先の森づくり～

種採りは原点の原点や～森の古老の知恵と技～

練習問題③

Q. 種採りで一番注意しなければならないことは何ですか。

—それは母樹の選定だな。良い木から良い種を採ることは絶対条件です。なんせキャッチフレーズは、「良い種は栄える」ですから。

Q. なるほど。その、良い木って、どんな木でしょうか。

—うーん、なかなか一言では言えんなあ。木の形と樹皮の表情を見て決める。

Q. ある程度、経験を積めば、わかることですか。

—そうやな、経験がものを言うな。

これが完璧になるには30年かかりましたよ。

Q. 川上村では昔から種採りが盛んなんですか。

—あんだ、大分の人だから川上村って言ってもわからんだろうけれども、雨が多くて、スギの生育に恵まれた土地でな。山の面積の7割、70パーセントが人工林です。

Q. 人工林って？

—人が木を植えて、育てるんや。で、いい木を育てるには、いい種がいる。だから種採りは原点の原点や。

【整理した文章の例】

良い種は栄える ー杉の種採り名人ー

話し手 杉本充
聞き手 ○○○○・○○○○

いたずらっ子時代

私の名前は杉本充です。昭和5年9月6日生まれですから、今年で88歳になりました。奈良県川上村で生まれ育ちました。生家は山の中腹で、子どものときは、もっぱら山に入って遊んでいました。崖から木に飛び移ったり、川に飛び込んだり。冒険好きのいたずらっ子でした。

種採りの仕事

川上村は雨が多くて、杉の生育に恵まれた土地で、人が木を植えて山を育ててきました。山の面積の70パーセントが人工林です。私は中学校を出てすぐに、親父の仕事を自然と引き継いで、種採りの仕事を始めました。

作品をまとめるときには、聞いた話の順序を、適宜入れ替えても良い！

作品が完成したら、話し手に内容を確認

聞き書きは、その人が生きてきた証。

本人が記録に残したくない内容は、削除する。

「話し手」と「聞き手」の信頼関係が大切。

作品の提出方法

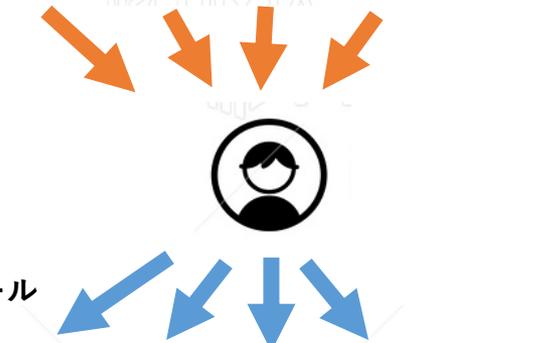
■書き起こしをする（各自）

※10/15までにリーダーに提出



■データのとりまとめ（リーダー）

※10/22までにメンバーと事務局にメール
(データ集まり次第できるだけ早く)



■作品のとりまとめ（各自）

※11/19までにリーダーに提出
(できれば、11月12日の講座に
間に合わせられると、メンバー
で相談できる)



■作品の提出（リーダー）

※12/17までに事務局に提出
(早めの提出、歓迎です!)



※インタビューの録音を分担して、書き起こしたデータ（ワード文書）をリーダー提出する。

※リーダーは、提出されたデータ（ワード文書）を順番とおりにつなげ、一つのデータにし、メンバー全員と事務局宛にメールする。

※リーダーから届いたデータを、各自で整理して、作品をつくり、リーダーに提出する。
(タイトルや小見出しもつける)

※リーダーは、各自の作品を読み、一つを選んで、事務局に提出する。
(最も良い作品を選ぶ、あるいは各自の作品の良い部分を活かして一つの作品にまとめて提出する)

※事務局が内容を確認し、印刷する

■作品の字数 5000～7500字

■必ず感想文を添える

■写真にはキャプションを入れる

■タイトル、小見出しをつける

(注意事項)

パソコンで作業するときは、書き起こしのデータを使用しますが、上書きせずに、整理した文章は別ファイルで保存し、作業してください。